

第11回 FunTrails Round 秩父&奥武蔵  
100MILE/100K/50K  
環境モニタリング  
報告書

2026年1月

大会主催：第11回 FTR秩父&奥武蔵実行委員会  
調査実施機関：株式会社環境管理センター

## 目 次

	頁
1. 大会概要 .....	1
2. モニタリング手法 .....	1
3. 調査地点図 .....	2
4. 気象 .....	4
5. 調査結果 .....	5
6. まとめ .....	16

## 1. 大会概要

大会概要は、下記に示すとおりである。

- 1) 大会名称  
第11回 FunTrails Round 秩父&奥武蔵 100MILE/100K/50K (FTR100MILE/100K/50K)

- 2) 大会日時  
前日受付：2025年11月14日（金）  
大会当日：2025年11月15日（土）～ 11月16日（日）

### F T R 100MILE

11月15日（土）：スタート時間 6:00  
11月16日（日）：フィニッシュ制限時間 14:00

### F T R 100K

11月15日（土）：スタート時間 6:00  
11月16日（日）：フィニッシュ制限時間 14:00

### F T R 50K

11月15日（土）：スタート時間 9:00  
11月15日（土）：フィニッシュ制限時間 21:00

- 3) 大会主催 第11回F T R 秩父&奥武蔵実行委員会  
4) 大会企画・運営 FunTrails 合同会社  
5) 大会開催場所 埼玉県秩父市、横瀬町、飯能市  
6) コース情報

コース情報の概要は、以下のとおり示す。なお、詳細は図3-1及び図3-2に示す。

#### ・ F T R 100MILE

距離162km（トレイル率：約80%）/累積標高差 9,647m/制限時間 32時間  
羊山公園（大会会場）⇒国際釣場（A1）⇒正丸駅（A2）⇒子ノ権現（A3）  
⇒名栗河川広場（A4）⇒ドライブインゆのた（A5）⇒子ノ権現（A6）  
⇒長念寺（A7）⇒飯能中央公園（A8）⇒長念寺（A9）⇒高山（A10）  
⇒正丸駅（A11）⇒子ノ権現（A12）⇒高山（A13）⇒県民の森（A14）  
⇒羊山公園（大会会場）

#### ・ F T R 100K

距離105km（トレイル率：約80%）/累積標高差 6,831m/制限時間 32時間  
羊山公園（大会会場）⇒国際釣場（A1）⇒正丸駅（A2）⇒子ノ権現（A3）  
⇒名栗河川広場（A4）⇒ドライブインゆのた（A5）⇒子ノ権現（A6）  
⇒長念寺（A7）⇒高山（A8）⇒県民の森（A9）⇒羊山公園（大会会場）

#### ・ F T R 50K

距離54km（トレイル率：約70%）/累積標高差 2,985m/制限時間 12時間  
羊山公園（大会会場）⇒国際釣場（A1）⇒正丸駅（A2）⇒高山（A3）  
⇒県民の森（A4）⇒羊山公園（大会会場）

- 7) 大会出走者  
F T R 100MILE 78人  
F T R 100K 556人  
F T R 30K 762人  
(途中棄権、オーバータイム含む)

## 2. モニタリング手法

モニタリング手法のまとめを表2-1に示す。

表2-1 モニタリング手法のまとめ

手法	方法	調査地点（略称） <sup>注)1</sup>	調査日
環境影響 モニタリング	大会実施前後の写 真撮影による比較	No.1_2025.11	11月1日
		No.3_2025.11	(大会実施前)
		No.4_2025.11	11月16日
		No.5_2025.11	(大会実施後) <sup>注)2</sup>
利用影響 モニタリング	大会実施中に登山 者を含む一般利用 者へヒアリング	No.2_2025.11	11月15日 (大会実施中) <sup>注)3</sup>

注)1:調査地点の位置は、図3-1及び図3-2に記載した。

注)2:大会実施後の調査は、全ての大会参加者が通過した後に実施した。

注)3:大会実施中の調査は、大会参加者が通過している11時～12時頃までに実施した。



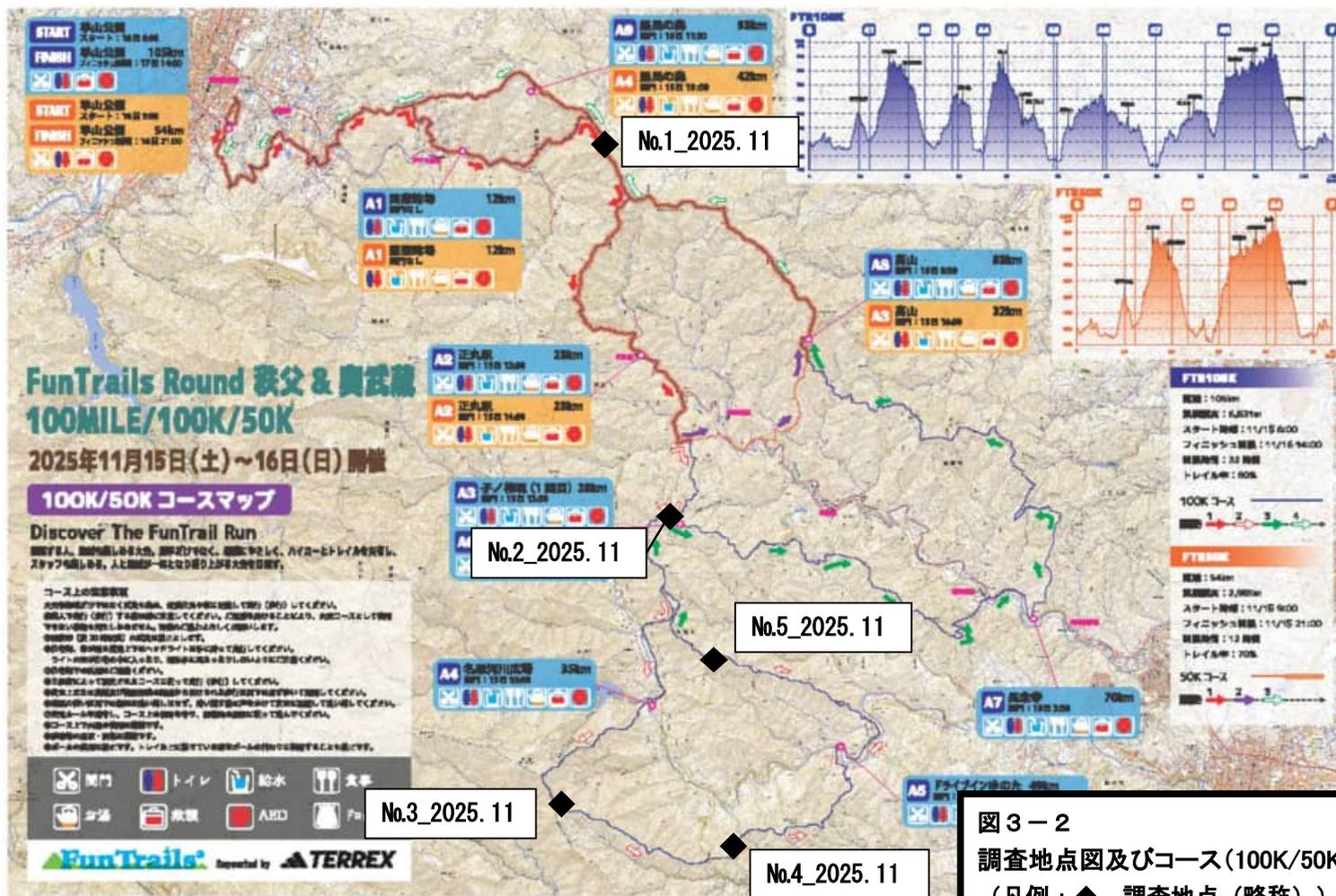


図3-2  
 調査地点図及びコース(100K/50K)  
 (凡例：◆ 調査地点(略称))

#### 4. 気象

大会実施日近辺（11月1日～11月16日）の降水量は表4-1に、大会実施日の気象状況は表4-2に示すとおりである。

なお、表4-1及び表4-2の気象データは、気象庁観測（秩父市）のデータを抜粋した。

表4-1 大会実施日近辺（11月1日～11月16日）の降水量

日付	合計 (mm)	最大		大会実施日	調査段階	
		1時間(mm)	10分間(mm)		利用影響	環境影響
11月1日	1.5	2.5	0.5			大会実施前
11月2日	--	--	--			
11月3日	0.0	0.0	0.0			
11月4日	--	--	--			
11月5日	--	--	--			
11月6日	0.0	0.0	0.0			
11月7日	--	--	--			
11月8日	--	--	--			
11月9日	1.0	1.0	0.5			
11月10日	0.0	0.0	0.0			
11月11日	--	--	--			
11月12日	--	--	--			
11月13日	--	--	--			
11月14日	--	--	--			
11月15日	--	--	--	○	大会実施中	
11月16日	--	--	--	○		大会実施後

-- : 降水量がないことを示す。なお、0.0mmは0.5mmに満たないことを示す。

-- ) : 降水量がないことを示す(準正常値)。

表4-2 大会実施日（11月15日～11月16日）の気象状況

日付	時刻 (時)	降水量 (mm)	気温 (℃)	風向・風速		日照時間 (h)
				風速 (m/s)	風向	
11月15日	1	--	8.7	0.5	東北東	
11月15日	2	--	7.8	0.4	北東	
11月15日	3	--	7.5	0.7	南西	
11月15日	4	--	7.4	0.8	西南西	
11月15日	5	--	7.3	0.3	西	
11月15日	6	--	7.4	0.3	西	
11月15日	7	--	7.4	0.5	南	0.0
11月15日	8	--	9.5	1.4	東	1.0
11月15日	9	--	11.8	0.4	北	1.0
11月15日	10	--	13.6	1.1	東	1.0
11月15日	11	--	15.3	1.4	北北東	1.0
11月15日	12	--	16.5	2.9	北	1.0
11月15日	13	--	17.4	2.0	北北東	1.0
11月15日	14	--	17.2	2.5	北北東	1.0
11月15日	15	--	17.0	3.4	北東	1.0
11月15日	16	--	15.9	2.2	北	1.0
11月15日	17	--	12.7	1.4	南	0.1
11月15日	18	--	10.3	1.1	南南西	
11月15日	19	--	9.3	1.1	南南西	
11月15日	20	--	8.8	0.4	南南東	
11月15日	21	--	8.0	0.1	静穏	
11月15日	22	--	8.1	0.6	北西	
11月15日	23	--	7.7	1.2	西	
11月15日	24	--	7.9	0.7	北北東	
11月16日	1	--	7.7	0.7	北北東	
11月16日	2	--	7.1	1.0	南南西	
11月16日	3	--	6.9	0.2	静穏	
11月16日	4	--	6.5	1.0	北	
11月16日	5	--	6.6	0.7	南西	
11月16日	6	--	6.4	0.3	南	
11月16日	7	--	5.9	0.9	南南西	0.0
11月16日	8	--	7.8	0.6	西南西	0.8
11月16日	9	--	10.8	0.7	西北西	1.0
11月16日	10	--	12.8	0.7	北北東	1.0
11月16日	11	--	14.4	1.4	北北東	1.0
11月16日	12	--	15.5	2.6	北	0.9
11月16日	13	--	15.3	3.6	東	0.6
11月16日	14	--	15.7	3.4	東	0.4

-- : 降水量がないことを示す。

: 大会実施時間

## 5. 調査結果

調査結果は、次頁以降に示す。

地点名称	大野峠付近（略称：No.1_2025.11）		
緯度	35° 58' 43.34"N		
経度	139° 10' 21.99"E		
標高	873 m		
地点概要	関東ふれあいの道に指定されており、カバ岳直下～大野峠間の登山道である。 周辺の登山道より、比較的浮石が多い箇所である。		
選定理由	関東ふれあいの道を通するため。 各クラスの選手が全て往復で通過するため、登山道への負荷が大きいと考えられる。 （なお、大野峠方向を進行方向とした。）		
モニタリング手法	環境影響モニタリング （写真撮影による（大会実施前後の比較））		
使用機材	デジタルカメラ iPhoneSE 内蔵カメラ 緯度経度、標高 スマートフォンアプリ（ジオグラフィカ） 斜度の測定 スマートフォンアプリ 洗掘高の測定 メジャーによる		
<b>大会実施前</b>		<b>大会実施後</b>	
日時（天候）	11月1日 晴	日時（天候）	11月16日 晴
実施者	吉永、小高	実施者	吉永、武藤、小高
幅員	1.2m	幅員	1.2m
斜度	登り方向 17°	斜度	登り方向 18°
洗掘高	0.095m	洗掘高	0.095m
大会実施前後で比較した結果	大会前後で比較した結果、大きく変化した点は見られなかった。		
① 進行方向 近景		① 進行方向 近景	
			
② 進行方向 遠景		② 進行方向 遠景	
			

地点名称		大野峠付近 (略称: No.1_2025.11)	
大会実施前		大会実施後	
③	逆方向 近景	③	逆方向 近景
			
④	逆方向 遠景	④	逆方向 遠景
			
⑤	洗掘高の測定	⑤	洗掘高の測定
			
⑥	斜度の測定	⑥	斜度の測定
			

地点名称	子ノ権現付近（略称：No.2_2025.11）			
緯度	35° 54' 26.73"N			
経度	139° 11' 16.71"E			
標高	629 m			
地点概要	<p>子ノ権現には、一般利用者として、参拝客だけでなく登山者が周辺登山道より来訪する。本大会のエイドが駐車場に設置されている。</p> <p>調査は、子ノ権現より竹寺方向へ向かう登山道にて、登山者を中心に実施した。</p>			
選定理由	100MILEと100Kの選手が複数回通過すること、一般利用者が比較的多いこともあり、大会参加者と遭遇することが想定されるため。			
モニタリング手法	<p>利用影響モニタリング  （登山者を含む一般利用者へのヒアリングによる）</p>			
<b>大会実施中</b>				
日時（天候）	11月15日 晴		調査 風景	
実施者	吉永、小高			
一般利用者の状況	<p>周辺の登山道から登山者が登っており、数組ベンチ周辺で休憩をとる姿が見られた。</p> <p>大会参加者とは、大会コース（登山道）やベンチ周辺で遭遇していた。</p>			
大会参加者の状況	<p>大会参加者は、一般利用者と大会コース上で遭遇することがあったものの、その度に立ち止まって、一般利用者を優先・配慮する姿が見られた。</p>			
利用影響モニタリング結果概要	<p>調査は、6問実施した。</p> <p>トレイルランそのものは知っており、大会実施に関して大きな意見はなかった。</p> <p>大会開催については、駅に来てポスターで知った方や登山道に来て初めて知った状況であった。</p>			
地点名称	子ノ権現付近（略称：No.2_2025.11）			
ヒアリング対象	<p>合計 10  （男性 6）  （女性 4）</p> <p style="text-align: right;">（単位：人）</p>			
ヒアリング対象の年代	20代未満	0	20代	0
	30代	2	40代	1
	50代	2	60代	5
	70代	0		
	（単位：人）			
お住まいの都道府県	1. 東京都内			7
	2. 埼玉県内			2
	3. その他			1
	（単位：人）			
今回の訪問目的	1. ハイキング			10
	2. トレーニング			0
	3. その他			0
	（単位：人）			

地点名称	子ノ権現付近 (略称：No.2_2025.11)	
トレイルランを知っていますか。	1. 知っている 2. 知らない 3. 無回答	10 0 0
		(単位：人)
本日の大会開催を知っていましたか。	1. 知っている 2. 知らない 3. 無回答	0 10 0
		(単位：人)
本日の大会でランナーや応援者のマナー等で気になった点がありましたか。	1. とくになし 2. あった 3. 無回答	10 0 0
		(単位：人)
大会に係る標識等による戸惑い(標識の見間違いなど)はありましたか。	1. とくになし 2. あった 3. 無回答	10 0 0
		(単位：人)
大会関係の仮設工作物等、大会関係者が集まっている場所(ex. スタート地点)において、通行や休憩に支障はありましたか。	1. とくになし 2. あった 3. 無回答	10 0 0
		(単位：人)
その他本日の大会でトラブル等を見聞きしましたか。	1. とくになし 2. あった 3. 無回答	10 0 0
		(単位：人)

地点名称	権次入峠～黒山間 (略称: No.3_2025.11)		
緯度	35° 51' 12.00"N		
経度	139° 09' 41.88"E		
標高	812 m		
地点概要	権次入峠～黒山は、関東ふれあいの道に指定されている。幅広い尾根道であり、周辺は造成林が主である。比較的整備されているため、歩きやすい登山道である。調査地点は、進行方向に対して下り坂である。		
選定理由	関東ふれあいの道に指定されているため。東京都と埼玉県の境である登山道であり、秩父多摩甲斐国立公園 (東京都内) まで接続できる登山道のため。		
モニタリング手法	環境影響モニタリング (写真撮影による (大会実施前後の比較) )		
使用機材	デジタルカメラ	iPhoneSE 内蔵カメラ	
	緯度経度、標高	スマートフォンアプリ (ジオグラフィカ)	
	斜度の測定	スマートフォンアプリ	
	洗掘高の測定	メジャーによる	
<b>大会実施前</b>		<b>大会実施後</b>	
日時 (天候)	11月1日 晴	日時 (天候)	11月16日 晴
実施者	吉永、小高	実施者	吉永、小高
幅員	1.2m	幅員	1.2m
斜度	登り方向 19°	斜度	登り方向 20°
洗掘高	0.085m	洗掘高	0.085m
大会実施前後で比較した結果	大会前後で比較した結果、大きく変化した点は見られなかった。		
① 進行方向 近景		① 進行方向 近景	
			
② 進行方向 遠景		② 進行方向 遠景	
			

地点名称		権次入峠～黒山間 (略称：No.3_2025.11)	
大会実施前		大会実施後	
③	逆方向 近景	③	逆方向 近景
			
④	逆方向 遠景	④	逆方向 遠景
			
⑤	洗掘高の測定	⑤	洗掘高の測定
			
⑥	斜度の測定	⑥	斜度の測定
			

地点名称	黒山～小沢峠間（略称：No.4_2025.11）		
緯度	35° 50' 27.42"N		
経度	139° 11' 26.70"E		
標高	569 m		
地点概要	尾根道であり、周辺は造成林が主である。 比較的歩きやすい登山道であるが、調査地点周辺は、岩、木の根が点在し進行方向に対して、下り坂である。		
選定理由	東京都と埼玉県の境である登山道であり、秩父多摩甲斐国立公園（東京都内）まで接続できる登山道のため。 登山者等が比較的少ない登山道のため。		
モニタリング手法	環境影響モニタリング （写真撮影による（大会実施前後の比較））		
使用機材	デジタルカメラ	iPhoneSE 内蔵カメラ	
	緯度経度、標高	スマートフォンアプリ（ジオグラフィカ）	
	斜度の測定	スマートフォンアプリ	
	洗掘高の測定	メジャーによる	
<b>大会実施前</b>		<b>大会実施後</b>	
日時（天候）	11月1日 晴	日時（天候）	11月16日 晴
実施者	吉永、小高	実施者	吉永、小高
幅員	1.0m	幅員	1.1m
斜度	登り方向 21°	斜度	登り方向 21°
洗掘高	0.06m	洗掘高	0.06m
大会実施前後で比較した結果	昨年度と異なった歩き跡が大会前より作られていた（②進行方向遠景）。 （昨年度の歩き跡は、落葉で覆われており歩いている様子は見られなかった。） 大会前後で比較した結果、現在の歩き跡では、大きく変化した点は見られなかった。		
① 進行方向 近景		① 進行方向 近景	
			
② 進行方向 遠景		② 進行方向 遠景	
			

地点名称		黒山～小沢峠間 (略称: No.4_2025.11)	
大会実施前		大会実施後	
③	逆方向 近景	③	逆方向 近景
			
④	逆方向 遠景	④	逆方向 遠景
			
⑤	洗掘高の測定	⑤	洗掘高の測定
			
⑥	斜度の測定	⑥	斜度の測定
			

地点名称	嶺付近 (略称: No.5_2025.11)		
緯度	35° 52' 46.76"N		
経度	139° 11' 51.63"E		
標高	525 m		
地点概要	ノボットと竹寺間に位置しており、比較的歩きやすい登山道である。 周辺は造成林である。 調査地点は、進行方向に対して下り坂である。		
選定理由	登山者等が比較的少ない登山道であり、大会参加者による影響が懸念されたため。		
モニタリング手法	環境影響モニタリング (写真撮影による (大会実施前後の比較) )		
使用機材	デジタルカメラ iPhoneSE 内蔵カメラ 緯度経度、標高 スマートフォンアプリ (ジオグラフィカ) 斜度の測定 スマートフォンアプリ 洗掘高の測定 メジャーによる		
<b>大会実施前</b>		<b>大会実施後</b>	
日時 (天候)	11月1日 晴	日時 (天候)	11月16日 晴
実施者	吉永、小高	実施者	吉永、小高
幅員	1.4m	幅員	1.4m
斜度	登り方向 27°	斜度	登り方向 28°
洗掘高	0.16m	洗掘高	0.16m
大会実施前後で比較した結果	大会前後で比較した結果、大きく変化した点は見られなかった。		
① 進行方向 近景		① 進行方向 近景	
			
② 進行方向 遠景		② 進行方向 遠景	
			

地点名称		嶺付近 (略称: No.5_2025.11)	
大会実施前		大会実施後	
③	逆方向 近景	③	逆方向 近景
			
④	逆方向 遠景	④	逆方向 遠景
			
⑤	洗掘高の測定	⑤	洗掘高の測定
			
⑥	斜度の測定	⑥	斜度の測定
			

## 6. まとめ

環境影響モニタリングとして調査した範囲内では、大会前後で大きな変化はなかった。  
また、利用影響モニタリングとして一般利用者へヒアリングを実施した結果、大会開催に否定的な意見は、見られなかった。

今後とも大会開催にあたっては、引き続きモニタリングを実施し、自然環境及び一般利用者と共生できる大会運営に務めていく必要がある。